

法人
協

詩會

吉原ノ着火ト河崎妙吉トノ事件の開像内弟
一大云十五年　家載通更ラタシ和トシ公の詔書ヲ以テ一七〇〇
内偕文

新ウニ二九五。内ヲ借シ月利十五円ヲ明和三年返拂ウティタガ

明治三〇年以來ハ利息スヲ拂ハナリテ金目三五ツナカル
昭和五年一三月一日滿了買上ダテヤル(此時利得アリシト)

明治六年再び三万円購入シが明治七年
八千二百円ノ損害ヲ被リ名

支那セシガ支那条件トシテ萬三千円ダ
先賣セヨトニトナリシガ常的市價六

一、令年八月三十日
新青馬ト桂二千
五百七百九十二円
貯金ス
故ニ借入ハ被棄サレタ
見ルニ忍ゼル再三河崎ギハ滿百十四年由貢
上ゲヌタノデアル
一、昭和六年秋、再び三万円ノ繩ヲ貰入レ先方会社ノ金庫
入レテアツタ。新ガ松崎ガトヨルトニル事也。此が時外部カラ舊庫ノ箱ニ対シ会社カラ
引出シテキルトカ様ニ、中傷ガアツタガソレハ
單ニ中傷ニ止マツク。二度中傷ガアツタ
実地調査シテ處ガ言五十四年竊盜サレテキ
猶ナ前相ハ紙ケ文等諸メテアツタ。
餘リノコトニ古急ヲ起訴セント左志ニ云ヒシ所